

令和7年度

**立正大学 仏教学部
社会人オープン講座**

< 募集要項 >

【受講説明会日程】

令和7年3月27日（木） 14時00分より

※ 会場には13時30分頃から入室できます

御 挨拶

立正大学仏教学部は、これまで培ってきた教育・研究成果を広く社会に還元する活動の一つとして、平成2（1990）年度より「社会人オープン講座」を開設してきました。

ご存知の通り、仏教は北インドで発生した後、アジア各地域に伝播・展開し、精神文化の中核となって日常生活に息づいています。また、釋尊の教えが編まれた仏教経典の中にあつて、法華経は「諸経の王」として重んじられ、鎌倉時代に活躍した日蓮聖人もまた、生涯を法華経の実践に捧げられました。

立正大学は、この日蓮聖人の行動と思想を建学の拠り処（建学の精神）として設立され、令和4（2022）年に近代的な教育機関として開校してから150周年を迎えましたが、その淵源は、天正8（1580）年に日蓮宗学徒の教育機関として創設された飯高檀林に求められます。

仏教学部は、この飯高檀林から続く仏教の教育・研究の伝統を直接に継承し、社会に貢献する人材の育成に力を尽くしてきました。悠久の歴史を持つ仏教思想・仏教文化、および法華経、日蓮聖人の行動と思想を中心に、多面的な講義を長年にわたって開講し、その一端を社会人の皆様が受講して頂けるように、「社会人オープン講座」を開設してまいりました。

このような主旨のもとに、令和7（2025）年度は別表のような講義を開設いたしますので、本要項をご高覧のうえ受講をご検討頂ければ幸いに存じます。皆様方のご受講を心よりお待ちしております。

令和7年2月吉日

立正大学仏教学部長
安中 尚史

令和7年度 立正大学仏教学部社会人オープン講座 受講要領

1. 開設の趣旨

立正大学仏教学部では、生涯教育の一環として、また日本精神文化の華である仏教を広く紹介するために、社会人に対するオープン講座を実施しています。この講座の特徴は、社会人のみによるクラスを編成するのではなく、社会人の方を学生が受講する学部開設の授業（一部）に出席を認め、学生と共に学習するところにあります。

2. 資格

高等学校卒業程度以上の学力があり、年間を通じて通学できる意欲のある方。

3. 募集人員

若干名

4. 受講期間

令和7年度の1年間（立正大学の学年暦に従います）

5. 出願手続および問い合わせ先

①期 間 令和7年2月20日(木)～3月5日(水)まで【必着】（郵送のみ）

②提出書類 社会人オープン講座受講志願票・誓約書（本学部所定のもの）
※社会人オープン講座受講志願票では写真（4cm×3cm上半身脱帽）の添付が必要。
（なお、添付いただいた写真は、社会人オープン講座生証に使用させていただきます。）

③出願先(問い合わせ先) 立正大学仏教学部事務室<社会人オープン講座係>宛
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16 TEL03(3492)8528 E-mail: bst@ris.ac.jp
<交通アクセス>
JR山手線・都営地下鉄 浅草線「五反田駅」下車（徒歩約5分）
JR山手線・湘南新宿ライン・埼京線・東京臨海高速鉄道りんかい線「大崎駅」下車（徒歩約5分）
東急池上線「大崎広小路駅」下車（徒歩約1分）

※ 提出書類は黒のペン・ボールペンを用いて、はっきり楷書でご記入ください。

※ **出願期間経過後の受付はいたしません。期間内の出願をお願いします。**

6. 選考

①日 時 令和7年3月27日(木) 14時00分から

②場 所 立正大学 品川キャンパス 9号館

※ 新規に社会人オープン講座受講を希望される皆様…9B11教室

※ 過去に社会人オープン講座を受講いただいた皆様…9B21教室

◎会場には13時30分頃から入室できます

③選考方法 書類審査および面接

④選考料 無料

※ 選考のご案内等はお送りいたしませんので、当日会場までお越しください。

※ 当日やむを得ず欠席される場合は、事前連絡（仏教学部事務室03-3492-8528）をお願いいたします。

7. 受講許可

選考日当日にお知らせいたします。また、当日は受講説明会も行います。

8. 受講科目

令和7年度仏教学部社会人オープン講座として開設された講座（下記開設表参照）の中から3講座（通年は1講座、半期は0.5講座と考え、全受講を半期とした場合は、第1期・第2期で各3講座が上限となります。）を限度として選択し、受講できます。ただし、受講者数等の関係により受講講座を変更・中止していただくこともあります。また、受講講座によっては、担当教員が受講許可試験または面接を実施する場合があります。なお、社会人オープン講座では単位の認定はありません（成績評価ならびにレポート返却もいたしません）。単位・資格の必要な方は、科目等履修生制度によって受講されることをおすすめします。

9. 修了証

受講状況が良好で修了証を希望する受講生には、令和8年3月頃に「修了証」を授与します。

10. 社会人オープン講座生証（身分証明証）の発行

立正大学品川図書館の利用や、一部授業での出席確認に使用します。

11. 費用

①入学金 無料

②受講料

通年の講座（1講座）は**30,000円**、半期の講座（0.5講座）は**16,000円**

「国内仏教文化研修3」・「海外仏教文化研修3」は各**16,000円**

「芸術実習〔仏像I〕」は**30,000円**

※ 受講料納入後のご返金についてはお受けできませんので、ご了解願います。

③教科書・教材・研修旅行参加費等は自己負担

※ 「国内仏教文化研修3」・「海外仏教文化研修3」の研修旅行参加費等に受講料は含まれていません。研修旅行参加費等とは別に、所定期間内に上記受講料の納入が必要となります。

④受講料納入期間等については3月27日の受講説明会にてご案内させていただきます。

12. 受講上の注意

①講座担当教員や本学職員・学生に迷惑をかけるような行為があった場合には、受講をお断りすることがあります。同一講座の受講は原則として2年を限度とします。無届け講座・無許可講座等の受講はご遠慮ください。

②社会人オープン講座では単位認定がありませんので、社会人オープン講座生は定期試験期間中に実施される試験を原則受験いただけません。また社会人オープン講座生は学割（通学を含む）を利用できません。

③授業は対面授業で行われますが、**授業回によっては急遽オンライン授業（オンデマンド型＝録画した授業動画の配信による授業）に変更となる場合があります。**その場合、ご自身所有のPC・インターネット環境を使用して受講をお願いします（PC等の貸出しは行っておりません）。また、オンライン授業の具体的な受講方法についてはポータルサイト「お知らせ」よりご案内します。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和7年度 立正大学仏教学部社会人オープン講座 開設表

第2期	日本仏教史特論4	担当	安中尚史・木3限
6世紀に日本へ到来した仏教は、日本人の思想や行動、文化に多大な影響を及ぼし、今日にまで至っています。本講義では、仏教伝来から国家的に受け入れられ、定着を果たした過程を概説し、さらに日本の近代化に対応しながら、新たな展開を果たした仏教界の活動を中心に講義します。			
第1期	芸術実習 [仏像I]	2時限連続講座	担当 伊加利庄平・金3-4限
この授業では仏像彫刻の制作実習を行います。実際に小像を造りながら、彫刻芸術としての仏像の造形的世界を体感するとともに、自分の感性のあり方を探り、知るところを目的とします。 [材料費・鋳造費用は別途徴収]			
通年	アジア美術史1・2	担当	久保真紀子・月3限
東南アジア各地にのこる仏教・ヒンドゥー教の寺院建築やその内部に祀られた尊像彫刻を観察し、そこに表現された主題を読み解くとともに、寺院造営当時の歴史的背景を考察する。			
第1期	インド仏教史2	担当	庄司史生・金4限
インドにおける「大乘仏教の成立と展開」、「仏教の衰亡と再興」について講義します。			
通年	宗学概論1・2	担当	田村亘禰・木2限
日蓮聖人によって構築された独自の法華教学＝「宗学」の基本的事項を、順々に学修します。			
通年	中国仏教史1・2	担当	手島一真・水1限
中国への仏教伝来から思想教学の最盛期といわれた唐代までを中心に、時代背景との関連をふまえながら紹介します。			
第2期	仏教古文書演習	担当	寺尾英智・火3限
鎌倉時代の代表的仏教者である日蓮聖人の直筆の書状を、写真版（プリント）によって講読していきます。取り扱う書状は、漢字仮名交じり文（いわゆる和文体）のものです。			
通年	サンスクリット語 初級I・II	担当	戸田裕久・金5限
サンスクリット語（梵語）は仏教に限らず様々な分野で広く用いられているインドの古典語です。その文法を基礎から学び、西欧諸語との関連性、東洋諸語に与えた影響、仏教用語の翻訳上の問題等についても考えます。			
第1期	宗教とは何か	担当	戸田裕久・木3限
宗教という同じ名で呼ばれていながら種々異なる様相を呈する世界の諸宗教現象。その研究と実践の諸相を俯瞰的に捉えて価値中立的立場から考察し、宗教の存在意義を探究します。特に宗教体験の機序に着目します。			
第2期	宗教の史的展開	担当	戸田裕久・木3限
世界の諸宗教の基本的な教義と実践の歴史的展開と現況を価値中立的立場から紹介します。それは世界の諸宗教の源流を探る旅。 そして紛争の原因と経緯を解明し解決策を模索し、人類の未来を予測し展望する試み。			
通年	法華経概論1・2	担当	原 慎定・金3限
日蓮宗の根本聖典である漢訳『妙法蓮華経』の構成と教えの概要をたずねます。さらに天台・伝教両大師の法華経観と対比して、日蓮聖人教学の特色を明らかにしたいと思います。			
通年	日蓮聖人伝1・2	担当	本間俊文・金2限
日蓮聖人の生涯を思想と行動の両面から探り、最新の研究成果を踏まえながら、法華経弘通に邁進した激動の生涯を紐解いていきます。			
通年	立正安国論講義1・2	担当	三輪是法・火5限
『立正安国論』は、日蓮聖人の主要著書の一つです。本講義では、本書を通読して内容を理解することはもとより、近代日本において『立正安国論』がどのように読まれたのか、ということについても確認します。			

※ 斜字体の科目は、半期開講の講座科目です。

海外仏教文化研修 3	集中講座	研修地	モンゴル	担当	安中尚史・庄司史生
<p>本授業は、実地の見学・研修と事前事後の学習を併せて行います。本年度は、モンゴル仏教の歴史と現状について学習します。具体的には、ガンダン寺とモンゴル国立大学（ウランバートル）、エルデニゾー寺（カラコルム）等を中心に研修を行います。</p> <p>《研修期間》令和7年9月15日（月）～20日（土） 5泊6日（予定）</p> <p>事前および事後学習会を以下の通り5回開催します。</p> <p>【第1回】事前学習会 4月19日（土）4限（15:20～17:05） 【第2回】事前学習会 5月24日（土）4限（15:20～17:05） 【第3回】事前学習会 6月21日（土）4限（15:20～17:05） 【第4回】事前学習会 7月19日（土）4限（15:20～17:05） 【第5回】事後学習会 10月18日（土）4限（15:20～17:05）【レポート提出】</p> <p>教室は「1353教室」の予定 ※教室等の場所や日程に変更が生じた場合にはポータルサイト等で別途提示します。</p>					
国内仏教文化研修 3	集中講座	研修地	和泉塚・飛鳥・奈良	担当	手島一真・田村亘禰
<p>本授業は、実地の見学・研修と事前事後の学習を併せて行います。本年度は、「日本文化の幕開けと法華仏教の転変を泉州・大和に追う」と題し、古代日本の宗教文化の様相を窺う史跡、および近世初頭の日蓮教団における諸事件に関わる宗門史跡等について体験的に学習していきます。具体的には、和泉塚・飛鳥・奈良の、寺院・遺跡・博物館等を中心に研修を行います。</p> <p>《研修期間》令和7年9月11日（木）～13日（土） 2泊3日</p> <p>《研修地》 塚 妙國寺 仁徳天皇陵 塚市博物館 等 飛鳥 川原寺跡 飛鳥寺 橘寺 等 奈良 東大寺 唐招提寺 等</p> <p>事前学習会を以下の通り4回開催し、各寺院・遺跡等の特色や、その歴史的背景等について予備知識を得ます。</p> <p>【第1回】事前学習会 4月19日（土）5時限（17:15～19:00） 【第2回】事前学習会 5月24日（土）5時限（17:15～19:00） 【第3回】事前学習会 6月21日（土）5時限（17:15～19:00） 【第4回】事前学習会 7月19日（土）5時限（17:15～19:00）</p> <p>※教室等の詳細は、ポータルサイトや仏教学部掲示板等で別途提示します。</p>					

令和7年度 授業期間および授業時間について

※下記の正式な日程は3月27日（木）受講説明会にて配付する学年暦を参照してください。

第1期	授業日	4月12日（土）～7月15日（火）
	補講日	7月16日（水）
第2期	授業日	10月3日（金）～1月23日（金）
	補講日	1月21日（水）・1月22日（木）

〔休日授業日〕 … 祝日であっても授業を実施する日

- ※ 4月29日「昭和の日」は授業を行います。
- ※ 7月21日「海の日」は定期試験を行います（正規学生・科目等履修生のみ）。
- ※ 11月24日「振替休日」は授業を行います。

〔振替授業日〕 … 授業回数均一化のための変則授業日（曜日が交換となるわけではありません）。

- ※ 11月4日は月曜日の授業を行い、火曜日の授業は行いません。
- ※ 11月12日は土曜日の授業を行い、水曜日の授業は行いません。
- ※ 1月13日は土曜日の授業を行い、火曜日の授業は行いません。

- 4月29日の振替休業日は7月25日となります。
- 7月21日の振替休業日は7月26日となります。
- 11月24日の振替休業日は1月16日となります。

	時 限	開始時間 ～ 終了時間	備 考
授 業 時 間	1時限	9:00～10:45	令和7年度よりアカデミック カレンダー変更に伴い授業時 間が変更となっています（90 分から105分に変更）。
	2時限	10:55～12:40	
	3時限	13:25～15:10	
	4時限	15:20～17:05	
	5時限	17:15～19:00	
	6時限	19:05～20:50	

【個人情報の取扱い】

ご提供いただきます個人情報は、法令等に定める一定の場合を除き、利用目的以外には利用しません。なお、利用目的の詳細につきましては本学ホームページ内の「個人情報保護の取り組み」をご覧ください。

https://www.ris.ac.jp/rissho_school/release_information/compliance/personal_info_protection.html